

アイリス Letter

保護者の皆様へ



2024年5月31日発行

第1号

広島女学院中学高等学校

<聖書のことば>

平和を実現する人々は、幸いである、
その人たちは神の子と呼ばれる。

マタイによる福音書5章9節

新年度が始まって早くも2ヶ月が過ぎようとしています。中学では4月6日、196名の
中1を迎えて入学礼拝を、高校では4月8日、197名の高1を迎えて入学・始業礼拝をそれ
ぞれ行いました。両学年とも4月末には一泊二日のオリエンテーション合宿を無事に行うこ
とができました。忙しい日々が続いたと思いますが、先週最初の間テストを終え、ようや
く落ち着いた生活を送ることができていることと思います。広島女学院中学高等学校は、今
年度6学年総勢1,190名でスタートしました。この一人ひとりが、そして支えてくださる各
ご家庭が、主の平安の中にありますようお祈りいたします。

さて始業礼拝で私は、生徒のみなさんに2つの目標を伝えました。1つは「学び続ける人
になる」ということ、そしてもう1つは「自走できる人になる」ということでした。

今、生徒たちが置かれている環境は、めまぐるしく変化しています。情報化が高度に進み
あらゆる情報が瞬時に得られる時代にあつては、自ら本を読み紙から情報を得るという機会
は次第に姿を消していくのかもしれませんが。また個別最適化された学習スタイルが定着して
いくことで、もしかしたらクラス全員が一斉に同じことに取り組むということもなくなって
いくのかもしれませんが。

しかし、そうした時代だからこそ私は、主体的に学び続けることが大切になってくると思
うのです。単にAIが教えてくれることに従うのではなく、自ら本のページをめくり、そこに
無限の広がりを見出してほしいのです。そして生徒のみなさんには、安全な環境に身を置き、
自分が何をするか、どちらの方向に歩みを進めていくかを人任せにしてほしくはありません。
容易に手に入るものが、容易に失われるのは世の常です。この世界には、自ら走り続けるこ
とでしか得られないものがあり、そしてそれこそが自分を支えてくれるのだと私は思ってい
ます。

この学校でのいろいろな経験を通して、生徒のみなさんが、自分が大切だと思う未来に近
づけるよう一歩を踏み出してくれることを期待しています。その歩みは一人ではありません。
必ずともに歩む人がいてくれます。一緒に歩みをすすめることで、どんなつらいことでも必
ず乗り越えることができ、喜びは何倍にもなって返ってくるのです。

この一人ひとりの毎日の努力は、とてつもなく素晴らしいことです。これこそ、希望です。
この希望が、平和を実現することにつながるよう、チェストアップして進んでまいります。
1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

(校長)



イースター特別礼拝

「イースター（復活祭）」は、クリスマスとならぶキリスト教の大切な記念日です。私たちの救いのために、自分を犠牲にして十字架で亡くなったイエス・キリストが「復活」されたことをお祝いします。太陰暦で定められたため毎年変動しますが、今年は3月31日（日）でした。

本校では4月20日（土）にイエズス会司祭（ロクスひよりやま：旧下関労働教育センター）の林尚志神父をお迎えして、イースター特別礼拝の時間を持ちました。中学・高校共にヨハネによる福音書6章1節～15節をもとに「主は生きている：愛は生きている」と題し、説教をしてくださいました。

中学の礼拝では、五つのパンと二匹の魚を用いて5,000人に食べ物を与えた場面に着目し、世界が直面している「環境問題」や「戦争（紛争・争い）」についてや、奪い合い・差別する・殺し合うような状況における「分ける」ことの従来の意味について、林神父自身が戦後の中学時代にあったひもじい経験を通じて伝えてくださいました。さらに、どのような場面においても「助け合う」ことや「分かち合う」、すなわち「ケア」や「シェア」という「愛」の生き方によって、神様がイエス・キリストの復活を通して示された真の平和が実現される希望について語られました。

高校の礼拝では、林神父が孤独を感じていた浪人時代、ご友人から送られたハガキに書かれた「氷雨ふる 泥濘の中で 灼熱の太陽を握め」という言葉に奮い立たされ、人との出会いの中で得る力についてお話くださいました。また、学校で働いておられた時、キャンプ行事で生徒全員がポテトサラダを「分け合った」経験や、友人の幼い娘が「シェア」と言いながらお菓子を差し出してきた思い出と、イエスさまが五千人以上の人々と食べ物を分かち合ったお話を絡めて、現代に生きる私たちが「分ける心」を持って輝いて生きることの大切さについて教えてくださいました。



（宗教教育委員会）

生徒支援部より

新しい年度が始まりました。既に年度初めに「学校生活の手引きの確認」や「SNSに関する学校方針」を配信していますので、各ご家庭で必ずご確認下さい。

また、5月11日（土）には大阪総合教育支援研究所の原田孝先生をお招きして、新中1の保護者の方を対象に『中高生の育ちを支える家庭の役割』と題して講演していただきました。思春期は自分を守る「外枠」がなくなる時期であり心が過敏となること、それゆえ自分をストレスから守る「外枠」が必要となること、「外枠」の例として「学力」・「運動能力」・「芸術」・「リーダーシップ」、その他「自分が得意・好きだと思えるもの」を見つけていくことが大切なのだと学びました。その「外枠」に、親がなってしまうと子ども達は適度なストレス中で成長する機会をも失うことにも触れられました。また、この時期の「家庭の役割」として、子どもたちのエネルギーが切れていないのかの見定めや、大人の見本としての存在でいること、少しずつ親が手を離していくことの重要性も指摘されました。講演の後半は、事前に寄せ

られていた質問に回答する形で話をして下さいました。反抗期は自律の過程であること、スマホを持たせるのは、生徒自身が自律してコントロールできるかどうか見定め基準であること、共働きの家庭でも限られた時間の密度を上げる（休日や夜の時間に子どもとの時間を大切にすること）ことで役割が果たせること等が指摘されました。

さて、近年の生徒の特徴として、SNS の普及に伴ってなのか、生徒間のコミュニケーションの有り様が変わってきたと感じます。SNS 上の書き言葉のみのやりとりから来るすれ違いや、対面コミュニケーションを苦手とする生徒が増えてきています。相手に真意を確認せずに、ネガティブな想像ばかりが先行してしまうこともあります。互いに敬意をもてる関係をどう作っていくのか、ご家庭でもお話していただければと思います。

春は新しい生活のスタートであり、生活環境の変化が大きな時期です。どうしても心身の疲れがたまりやすくなりますので、ご家庭でもお声かけ等の配慮を宜しくお願い致します。

(生徒支援部)

海外研修

2023 年度春休みに実施された海外研修についてご紹介します。本校 Web サイト「今日の女学院」でもプログラムの詳細を参加生徒たちがレポートしていますので、合わせてご覧ください。

今年度は、下記 3 つの研修に加え、カンボジア研修も実施したいと考えております。詳細につきましては 9 月実施予定の海外研修合同説明会にてご案内させていただきます。

(1) マウントユニオン大学研修

参加生徒：高校 1 年生 6 名、中学 3 年生 6 名

日程：3 月 16 日（土）～27 日（水）

訪問先：シカゴ（イリノイ州）、アライアンス（オハイオ州）

主な内容：マウントユニオン大学のあるアライアンスでは、ホームステイをし、大学で「平和学」「アメリカ文化」「女性史」などの授業を受講した。また、Food Pantry でのボランティア活動やロータリークラブ訪問などを通して、地域の人々との交流を深めた。



シカゴ研修では、Willis Tower や美術館などを訪れたり、名物のシカゴピザやホットドックを食べたりして、大都会シカゴを楽しんだ。

引率の先生より：

プログラムを通して、生徒たちはチーム一丸となって助け合いながら一つ一つの課題に取り組むことができたと同時に、一人ひとりが成長する機会ともなりました。女学院生としてだけではなく、広島を代表する者として、より平和な未来を築いていく役割を果たしてくれました。

(2) 韓国研修

参加生徒：高校 1 年生 11 名、中学 2 年生 6 名

日程：3 月 25 日（月）～3 月 29 日（金）

訪問先：ソウル市内、近郊

主な内容：建国大学、建国大学付属高校を訪問し、K-pop やアニメなどの共通の話題から、「平和を共創する隣人」としてどうすべきかなどについて意見交換した。



今回新たに訪問させていただくこととなったボソン女子中学校とソニン中央教会では礼拝に参加させていただき、また DMZ（非武装地帯）や戦争記念館、景福宮なども訪問した。

引率の先生より：

4年ぶりの韓国研修では、「過去を学び、現在を知り、未来を考える」をコンセプトに研修内容を大きく変更しました。特に、研修全般に渡ってサポートをしてくださったソニン中央教会の皆さまや各学校で出会った生徒・学生・先生方の「おもてなしの心」に大きな感銘を受けて帰ってきた生徒も多かったようです。

現地でたくさんの方々からいただいた「お土産」を、今後どのように活かしていくのか、期待しています。

（3）GI ハワイ研修

参加生徒：高校2年生（Global Issues 選択生） 18名

日程：3月30日（土）～4月4日（木）

訪問先：ホノルル（ハワイ州）

主な内容：パールハーバー、ハリス教会などを訪問し、またハワイ大学の学生とディスカッションやプレゼンテーションを行った。



引率の先生より：

GIの集大成ともいえるハワイ研修。毎年充実した研修となっていますが、これほどまで「自分のテーマ」をもって研修に取り組めるものなのかと、驚きました。

「平和公園・資料館（広島）とアリゾナ記念館（真珠湾）の違いを探す」、「真珠湾の資料館の中で、どの展示にどのくらいの人が集まっていたのか数え、分析する」、「国籍という立場を乗り越えられるのか、多文化社会ハワイの中から考える」、「ハワイの病院を訪れて、日米の対応の違いを医師にインタビューする」などなど、これまでのGIの学びとつなげ、英語でコミュニケーションを取り、現地を訪れたこそその情報・考えを獲得することができました。

国内外かわかわらず多くの方の支えで実施できているこのハワイ研修ですが、この度は広島市のご協力を頂きました。広島市とパールハーバー国立記念公園が姉妹公園協定を締結したことで、事前学習や現地での学びをより深いものにすることができました。4月22日（月）には、成果報告を兼ねて松井広島市長のもとへ表敬訪問しました。

高3GI生は今後も学びを続け、Peace Builder としてしっかりと活躍してくれるものと期待しています。

高1オリエンテーション

4月24日(水)～25日(木)、呉市安浦町で高1の合宿を行いました。初日は進路指導部長からのお話を聞いた後、これからのことを考えるうえで、自分自身がどんな人物なのかを考える時間を中心に過ごしました。保護者からの手紙を読む際には、保護者の思いを知り、思わ



ず涙ぐむ生徒も見受けられました。2日目には高校生活や将来の進路に向けての意気込みなどをクラスメイトの前で読み上げ、高校生活への決意をそれぞれ固めていました。最後にはHR委員企画を学年全体で楽しみ、学年・クラスの親睦も深めることもできました。天候にも恵まれ、充実した2日間を過ごすことができました。

(高1学年主任)

中1オリエンテーション

4月25日(木)と26日(金)、中1は初の宿泊行事となる学年合宿を「シャトレゼガトーキングダムせとうち」で行いました。短期間での準備でしたが、当日は晴天にも恵まれて、各クラスとも親睦を深めることができました。

開会礼拝では、ゲーンズ先生の生涯や広島女学院の歴史を学びました。その後、バスで比治山にあるゲーンズ先生のお墓に行き、各クラスが墓前礼拝を行いました。先生の愛唱された讃美歌294番を歌い、お祈りをささげて女学院生になった報告をしました。



シャトレゼガトーキングダムせとうちでは、お弁当の後、クラスごとに分かれて同級生インタビューに取り組みました。各自が用意してきた質問をもとに級友と1対1でインタビューをします。お互いが深い問いをたずね合うことで、相手だけでなく未知の自分自身を発見することができます。この活動は翌日の「自分を語る」と称する味わい深い自己紹介プログラムへ

とつながっていく仕掛けになっています。さて、夕べのつどいでは、礼拝に加えて「君は愛されるために生まれた」というゴスペルをみんなで歌い、温かい時間を過ごしました。夜はぐっすり眠り、気持ちのいい朝を迎えました。2日目には上記の「自分を語る」を行い、その後は芝生広場でクラス対抗の「なんでもリレー」で楽しみました。



今回から宿舎の雰囲気も変わり、デザートなど遊び心ある食事が用意されていたので、生徒たちが毎回大喜びでした。合宿で得た仲間との絆をさらに広げて充実した学校生活になるよう願っています。

(中1学年会)

《中2》遠足

4月25日（木）の遠足では、9月のチャレンジキャンプに向けて、広島市青少年野外活動センター・こども村へ「まき割り・飯盒炊爨」の練習をしに行って来ました。LHRでのレクチャーを経てグループで協力して準備を進め、当日はどのグループも安全にまき割り、火を起こしをおこなうことができました。

中には、なかなか火が付かず、苦戦したグループもありました。失敗を通して、試行錯誤をすることも大事な経験です。苦勞して炊いた飯盒のご飯は、格別のおいしさでした。チャレンジキャンプも、自信を持って食事作りをしてほしいと思います！

（中2学年会）



《中3》遠足

4月25日（木）の遠足、中3は広島県中央森林公園に行きました。青空の下、新緑の木々に囲まれた大自然の中で、思いっきり羽を伸ばしました。新しいクラスになって3週間。新旧クラスの友達と一緒に、ドッジボールやバレーボールをしたり、フリスビーで遊んだり、楽しそうな歓声が遠くまで響いていました。広島空港を一望できる展望台まで散歩したグループもありました。真っ青な空に向かって飛び立つ機影をずっと見上げていたそうです。しっかり動いた



後は、お昼ごはん。テントサイトを貸し切ってBBQです。昨年のチャレンジキャンプの経験を活かし、火起こしを完璧にこなす予定でしたが、なかなか昼食にありつけないグループが続出…。とはいえ、ボリューム満点の焼肉セットをどのグループも完食し、帰路につきました。今日の遠足が、新しいクラスの親睦を深めるとともに、中3の良いスタートになったのではないかと思います。

（中3学年会）

《高2》遠足

晴天に恵まれ、島根県立しまね海洋館アクアスに行ってきました。バスで2時間強の道のりを、名探偵コナンやディズニー映画を鑑賞しながらクラスの親睦を深めました。到着後は、ショーの時間が迫っていたこともあり、生徒の皆さんの行動は早かったです。西日本でシロイルカを見ることができるのはアクアスだけだそうですが、「しあわせのバブルリング」を堪能できてよかったです。アンナとアーリヤの2頭が妊娠しており、夏～秋にかけて出産予定とのことでした。応援したいですね！



午後から海に出てもよいことになっていました。寄せては返す波に、無心に近づいていく高2生の無邪気な姿にとっても癒された時間でした。



（高2学年主任）

《高3》遠足

高校3年生はクラス替えがないため、高2の3学期末からクラス毎に遠足を企画しました。おもしろい企画がたくさん出て、決める過程も楽しめました。日帰りのBBQができなくなった施設が多く、予定変更を余儀なくされたクラスもあり、結果4クラスが倉敷、1クラスが似島でのBBQとなりました。

倉敷に行ったクラスは事前にいろいろとお店を調べ、食べ歩きや体験（アクセサリー作りなど）を楽しみました。同時にクラスで一緒に過ごす時間をとったり、ミッションを設定したりと、同じ場所でも各クラスの個性が出る遠足となりました。



似島BBQのクラスはスーパーに現地集合となり、買い出しからスタート。施設のスタッフに驚かれるくらい、お肉を焼くだけに限らず、色々な料理が出来上がりました。スーパーにクラスメイトと行く非日常の経験も楽しかったようです。



受験勉強の疲れをひと時忘れて、楽しそうな笑顔がたくさん見られた遠足でした。

(高3 学年会)

P T A総会・学級懇談会

2024年度のPTA総会が5月11日（土）の参観日の後に行われました。この日の午後には中1・高3は学年集会、他の学年は学級懇談会も行われました。

総会では、昨年度の事業・決算報告があり、続いて新年度の役員選出、事業・予算案が承認されました。私は今年度はじめてPTA総会に参加させていただきましたが、改めて女学院でのさまざまな活動は、PTAの方々に支えられていることを実感いたしました。

昨年度の役員の皆様におかれましては、お忙しい中献身的に活動いただき、ありがとうございました。今年度の役員を引き受けてくださった皆様、一年間どうぞよろしくお願いいたします。



(中学教頭)

生徒会春の公演

①高校オーケストラ同好会

4月13日（土）、ゲンスホールで春の公演を行いました。プログラムは弦楽合奏として、ヘンデル作曲「アルチーナ組曲」より3曲（前奏曲・メヌエット・ガボット）と、ノルウェーの作曲家グリーグによる「ホルベアの時代ーホルベルク組曲」より2曲（前奏曲・舞曲）。また、ポップスとしてOfficial髭男dismの「115万キロのフィルム」を演奏。またアンサンブルとしてヴィオラ合奏によるバッハ作曲「主よ、人の望みの喜びよ」、チェロ合奏によるホルスト作曲の組曲・惑星より「ジュピター」、高3 3名のヴァイオリン・チェロ・ピアノによるトリオで葉加瀬太郎作曲「エトピリカ」を演奏しました。

これらに加えて今回は初のチャレンジとして吹奏楽部との合奏で、「パイレーツ・オブ・カリビアン」より「彼こそが海賊」を演奏しました。

リズムも複雑で難しく、また初めての合同演奏ということで最初はどうなることかと思いましたが、心を合わせなんとか映画を想起させるような演奏になったのではないかと思います。ご指導くださった松崎翔先生（指揮・編曲）、そして吹奏楽部の皆さんにこの場を借りて厚く御礼申し上げます。おかげさまでバラエティーに富んだ演奏会になりました。



24年度は高3生が3人、高2生17人、高1生は24人、総勢44人という大所帯になっています。ほとんどの生徒が高校入学後初めて弦楽器を手にするため、肩こりや筋肉痛に悩まされながらも放課後毎日地道に基礎練習に励んでいます。次はサマーミニコンサート、文化祭、メサイアと続きます。これからも部員一同、精進してまいります。

（オーケストラ同好会顧問）

②高校ダンス部

4月16日（火）の放課後、ゲンスホールにて高校ダンス部春の公演が行われました。「Passion」をテーマに、22名のダンサーと4名の照明・音響担当のスタッフが協力して、コーチの指導の下、ステージをつくりあげました。K-POP 中心の演目で、皆さんが知っている曲も多く、楽しんでもらえたのではないかと思います。コーチの振り付けによる最後の曲は、これまでの練習の集大成として、とても良い表情で踊りきることができました。高3はこの公演で引退となり、高2・高1による新しいダンス部がスタートします。平日にもかかわらず、多くの方々にご来場いただき、ありがとうございました。

（高校ダンス部顧問）

③中学演劇部

4月20日（土）に「水平線の歩き方」（成井豊 作）を上演しました。これを中学演劇部で上演するのは3回目です。主人公の青年が死んだはずの母と再会し、自分の人生を振り返りながら、孤独だと思ってきた自分が実は家族や周りの友人たちの温かさに支えられてきたことに気づき、絶望の中から希望を見出す物語です。過去や現在を行き来し、子供や大人、それぞれの登場人物の思いや考えの変化を演じるのは本当に難しかったと思います。ですが、キャストみなそれぞれ、役についてよく考え、コーチの厳しくも温かい指導の下、練習を積み重ねました。音響・照明のスタッフも、限られた時間の中で準備をしました。台本を決めるのに時間がかかってしまい、本番まで時間との戦いでしたが、公演本番ではそれぞれの部員がこの日にできることを出し切りました。達成感もありましたが、反省や課題もたくさんあります。次の文化祭公演ではさらに成長した姿をお見せできるよう、これから部員・教員一同頑張りたいと思います。

今回、たくさんの在校生・保護者の方・卒業生・外部の方にお越しいただき、大きな励みとなりました。ありがとうございました。

（中学演劇部顧問）

④高校演劇部

4月20日（土）に成井豊・隈部雅則作「ミス・ダンデライオン」を上演しました。音響、照明に加えて今回は映像の演出を加えるなど細部にこだわって作劇をしました。上演までに

多くの話し合いを重ね、全員で一つの劇を生み出す過程を丁寧にたどることができました。工夫を凝らした劇ゆえに当日はいつも以上に緊張があったことと思いますが、部員たちが見事に乗り切ってくれました。公演を応援してくださった方々、ご来場くださった方々皆様に感謝申し上げます。

(高校演劇部顧問)

⑤中高吹奏楽部 第 37 回定期演奏会

4月21日(日)ゲーンズホールにて第37回定期演奏会を無事開催いたしました。第1部は吹奏楽曲を中心に、5曲演奏。夏のコンクールの課題曲を全員で演奏すると



いう初の試みを行いました。第2部は「Join メドレー」。テーマは“恋”。女子校のあこがれを詰め込んだステージは、構成・演出ともに引退する高3がプロデュースしました。会場は黄色い声援や爆笑の渦につつまれ、演奏会一番の盛り上がりを見せました。第3部の美女と野獣メドレーでは、高3が5年間で磨きあげた音色をソロで存分に披露しました。

多くの方々のご協力のもと演奏会を開催することができました。保護者の方々におかれましては、お足元の悪い中、多数ご来場いただき、ありがとうございました。

今後どうぞ吹奏楽部への応援を宜しくお願い致します。

(吹奏楽部顧問)

⑥中高マンドリン部 第 44 回定期演奏会

4月28日(日)にマンドリン部では第44回定期演奏会を開催しました。

第1部は、11月に開催された県大会で演奏した「東洋の印象 第一組曲」をメインに他2曲を全員で演奏しました。第2部は高3の12名によるアンサンブルでした。今年の高3は人数が多いので、指揮者なしで息を合わせて演奏するだけでも難しかったと思います。5年間に共に音楽を作ってきた12人の演奏からは、第1部とはまた違ったマンドリン演奏の魅力を感じていただけたと思います。第3部では、「序曲『メリアの平原にて』」をメインに他2曲を第1部と同様、部員全員で演奏しました。このメンバーでの演奏は、昨年の8月から始まりました。お互いの弱さを支えつつ、補い合える優しい高3のみなさん。そんな高3を中心に築き上げてきたメンバーの演奏からは、とてもやさしい音楽が流れていたように感じます。今回の演奏会では、これまでの練習の成果を十分に発揮し、堂々と演奏する部員の姿を皆様にお見せすることができたのではないかと思います。

この演奏会にご来場くださった皆様、支えてくださった皆様に、心から感謝申し上げます。次は7月の全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクールに向けて精一杯頑張りますので、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

(マンドリン部顧問)

⑦高校音楽部

春の文化部公演シリーズの最終日4月29日(月)に、第40回高校音楽部演奏会を行いました。今回の演奏会は、音楽部OGとの合同ステージを企画し2月から一緒に練習を重ねてきました。当日は多くの



お客様に恵まれ、生徒たちは全力で4ステージを歌い切りました。演奏終了後に「私達は竹みたいだなと思っていました。皆、現役の3年間頑張ってフシを伸ばし、先輩達が根本から支えながらどんどん伸びて、今若い新芽の現役が爽やかに歌う、そんな脈々と続く息吹を感じて、音楽部の歴史の一部であることがすごく嬉しかったです。」とOGの方からメッセージを頂きました。まさにここに書かれているように、前顧問の星野晴夫先生の指揮の下、世代を超えた80名の音楽部の合唱は、ゲンスホールいっぱいに美しく響きました。そして同じ根っこから伸びた長い歴史の一部にどこかで自分達が繋がっていると感じ、この場で合唱をする喜びも含め、音楽部の一員であることに各々が誇りを持てた気がします。最後に、多くの方々にご来場いただいたこと、演奏会を行うにあたってアナウンスや照明など生徒たちの協力を頂いたことに心から感謝します。ありがとうございました。

(高校音楽部顧問)

ハーバード・京都大学グリークラブOB会 中高生徒との交流会

去る5月14日(火)にハーバード・京都大学グリークラブOBの方々と中学合唱部・高校音楽部との交流会が行われました。この日は先方から、東日本大震災の犠牲者、被災された方々のために作曲された「花は咲く」を共に日本語で歌い、お互いの文化の理解を深めたいとのたつての希望で、二週間と短い準備期間でしたが、中高部員の心を一つにして曲を仕上げることができました。当日は中学生部員が中・高のクラブ紹介を英語で行い、歓迎の気持ちを込めてまずは中高生だけで「花は咲く」を歌い、その後お互いの校歌を披露するなどしつつ、言葉を超えた心温まる交流会になりました。最後に全員で「花は咲く」を合唱した後は、今後もこの繋がりを大切にしつつ、小さいけれどそれぞれが「音楽は平和を運ぶ」働き的一端を担うことを心に誓い、盛会のうちに交流会を終えました。生徒たちは今後もメールでアメリカの団員の方と対話を続けていきたいと、熱く語っていました。この小さな種まきがこれからどのように成長していくのか、引き続き見守り育てていきたいと思っています。



(中学合唱部顧問)

保健室だより（１）

これから梅雨時期を迎えます。蒸し暑くなったり、雨のせいで急に冷えたりと、梅雨時は気候も安定せず、体調を崩しやすくなります。また熱中症発生数が増え始めるのは５、６月です。梅雨の晴れ間、梅雨明け直後は、身体がまだ高温多湿に順応できていませんので、このタイミングで急に気温が上がったり、蒸し暑くなったりすると熱中症発生のリスクが高まります。熱中症を防ぐには、普段の生活で熱中症にかかりにくい身体を作ることが大切です。次のことに気を付けて過ごしていきましょう。

- １．規則正しい生活をする、十分な睡眠をとる、１日３食栄養バランスのとれた食事をとる。
- ２．軽い運動、入浴で汗をかく。
- ３．こまめな水分補給。のどが渇く前に意識して水分を取る。大量に汗をかくときには塩分補給も必要。（梅干し、塩タブレット、スポーツドリンク等）



６月から制服が夏服へと衣替えします。暑い日には教室の冷房も稼働し始めます。外の暑さと教室の涼しさで体温調節が難しくなってきます。カーディガンを用意して、すぐに体温調節ができるようにしておきましょう。

６月６日（木）に第２次スクリーニング（眼科・耳鼻科・歯科）があります。学校生活を送るにあたり支障があるかについて、疾病をスクリーニングし、自分の健康状態を知る機会となります。疾病や異常の疑いがあれば、スクリーニング後「結果のお知らせ」をお渡しします。必要があれば受診していただきますようお願いします。

（保健室）

心の健康（１）

色とりどりの紫陽花（あじさい）が綺麗に花を咲かせています。

６月は梅雨です。この時期は湿度が高く、空気もジメジメします。人の心と身体は天気や天候の影響を受けますので、心もジメジメしがちです。こういう時こそ、家庭でひと工夫して心身の健康に気をつけたいものです。

６月は『美しいものにふれよう』そして、『うちとけた会話を大切にしよう』ということに心がけてみられてはいかがでしょうか。お部屋にちょっとお花を飾る心のゆとりもほしいですね。



（カウンセラー）

保護者対象部活説明会

今年度も中学校の以下部活動において保護者を対象とした説明会を開催します。

詳細については、後日各部顧問から生徒を通じてお知らせ致しますので、ぜひご出席ください。

部 活 動	日 時	場 所
ソフトボール部	６月１５日（土）１３：３０～	セミナー３（高校２階）

マンドリン部	6月15日（土）14:00～	中学2階講義室（中学2階）
バレーボール部	6月15日（土）14:45～15:15	セミナー3（高校2階）
バスケットボール部	6月15日（土）15:30～	中学3階講義室（中学3階）
ソフトテニス部	6月20日（木）16:20～	中学3階講義室（中学3階）
演劇部	6月20日（木）16:20～	中学2階講義室（中学2階）
YWCA部	6月20日（木）16:20～	中学会議室（中学3階）
卓球部	6月22日（土）13:30～	中学3階講義室（中学3階）
合唱部	6月22日（土）13:30～	音楽室2（アイリスセンター2階）
中高吹奏楽部	6月22日（土）14:00～	201（高校2階）
剣道部	6月22日（土）15:00～	剣道場（体育館1階）
新体操部	7月後半 演技発表会と合わせて行います	体育館2階

※6月20日（木）は参観日ですが、6限終了後の15:15～16:05に中2は保護者・生徒を対象に学年集会を行いますので、説明会はその後の時間に設定しています。中1・3の保護者の方々は、待機場所として食堂をご利用ください。

（中学生徒会顧問）

教職員の動向

◇今年度の新任の先生は次の方々です。

《教員》	《講師》
中西 泰良（国語）	石川 純音（理科）
高橋 孝子（音楽）	福岡 美香（音楽）
三熊 佑依（英語）	不免 昌子（美術）
	古川 淳子（家庭）

《職員（理科実験助手）》 上河内 香奈

○社会科の加藤弘輝先生が5月9日に結婚されました。おめでとうございます。
これから築かれるご家庭の上に神様の豊かな祝福がありますようにお祈りいたします。

○英語科のオサラバン ジェラルド先生のご尊父様が5月10日にご逝去されました。
ご家族の上に神様の慰めがございましたようお祈りいたします。



今月の聖句

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」

ヨハネによる福音書 3 章 16 節

世界で一番売れた本をご存じでしょうか。その答えは「聖書」です。

16 世紀ドイツで宗教改革を起こした人物の一人であるマルティン・ルターは、ヨハネによる福音書 3 章 16 節を「小聖書」または「小さい聖書」と言い表しました。膨大なページ数の分厚い聖書は、「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。」という聖句に集約されると言うのです。つまり、神様はこの世に生きる私たちのことを、ご自身の独り子イエス・キリストをお与えになるほどに愛し、大切な存在としてくださっているのです。

16 節後半には「永遠の命を得るためである。」とありますが、単に私たちが 100 歳 200 歳と永遠に生きるということではなく、聖書の教えそしてキリスト教的価値観は脈々と受け継がれていくということを指しているのではないのでしょうか。広島女学院は 1886 年の創立当初から、キリスト教そして聖書を大切にしてきました。私たちも広島女学院に連なる、神様に愛された者として、キリスト教そして聖書の教えを大切にしながら日々を歩んでまいりたいと思います。

(聖書科 U. R)